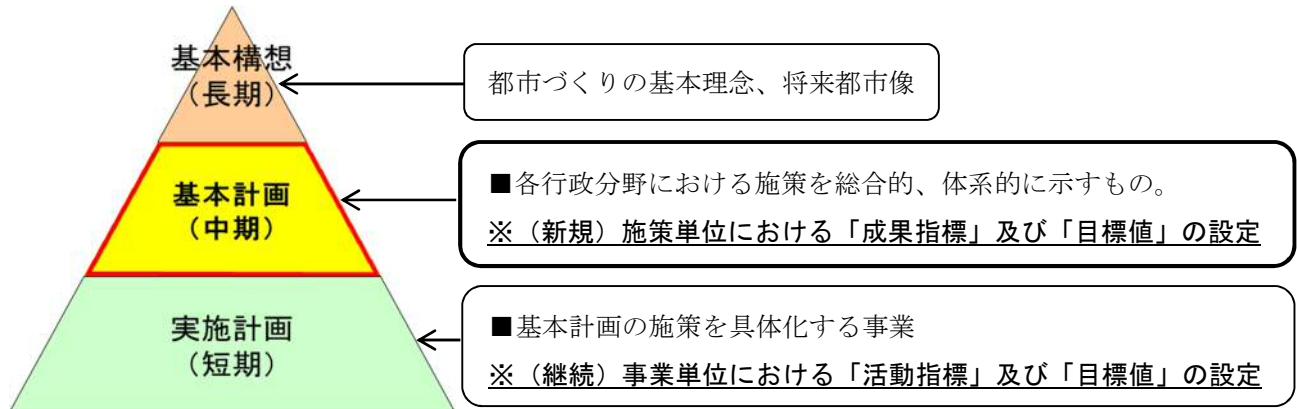


総合振興計画次期基本計画及び次期実施計画における 成果指標と活動指標について

1. 計画構成



2. 成果指標と活動指標

► 成果指標 (アウトカム) ← 基本計画に掲載

行政活動の結果として、市民にもたらされた便益や実感、どれだけの成果（効果・効用）がもたらされたかを表す指標

► 活動指標 (アウトプット) ← 実施計画に掲載

資源（人、金など）を投入して、どんな活動を行ったのか、どのようなサービスを提供したのかなど、実施した活動量・事業量を表す指標

3. 成果目標の活用

- ・中長期の視点から、各分野において「目指す方向性」の実現度合いを把握するために活用する。
- ・各施策を推進するための個別具体的な事業を掲げる次期実施計画について、事業の選定及び中間年の改定の際に活用する。

4. 指標のイメージ（交流・コミュニティの分野）

【施策①】 人権尊重社会の実現



目指す方向性

人権に関する意識の向上と被害者への支援に積極的に取り組み、社会全体で不当な差別を許さない人権尊重社会を目指します。

【基本計画における成果指標①】

身近な所で人権が尊重されていると感じる市民の割合

【基本計画における成果指標②】

社会全体で見た場合、男女の地位が平等と感じる市民の割合

【実施計画における活動指標の例】

- ・人権啓発講演会の参加者数
- ・企業等人権問題研修会の参加者数
- ・人権に関する講座を開催する公民館数
- ・男女共同参画社会情報誌の発行数
- ・男女共同参画推進センター等利用者数
- ・審議会等委員への女性登用率